特別功労表彰

氏　　名 （敬称略）	永尾（ながお）　福康（ふくやす）
役　職　等	前別府地区少年警察ボランティア協会　会長
功績内容	平成24年６月から令和８年６月まで、別府地区少年警察ボランティア協会会長として、「地域の少年は地域で育てる」という基本理念のもと、別府八湯温泉まつり等のイベントでの補導活動や日々の街頭補導活動を行うとともに、特殊詐欺防止啓発活動にも従事されるなど、少年の非行防止と健全育成を図ることを目的に警察と協力し、地域活動に尽力することで、地域住民の理解の促進に寄与された。また、少子高齢化が進む中、新しい会員の発掘を行うとともに、定期的な研修を行い、組織の活性化と充実に多大な貢献をされた。

氏　　名 （敬称略）	髙橋（たかはし）　徳隆（のりたか）
役　職　等	元別府市歯科医師会　副会長
功績内容	平成９年に「歯の衛生週間行事」を実施し、平成12年に無料歯科健診「学童期のむし歯予防」を、平成14年には、中央保健所にて地域保健研修会「歯周病とその予防について」を講演し、歯周病予防についての重要性を呼び掛けた。平成15年には、中央保健所にて「在宅における高齢者の歯科保健・口腔ケアの実技指導」の講演会を開催し、在宅における歯科保健の重要性を呼び掛けた。平成16年には、中央保健所にて「フッ素がいいのは、なしか」の講演会を開催し、フッ化物塗布の重要性を呼び掛けた。平成18年には、地域歯科保健事業として、講話「乳幼児の口腔ケア」を開催し、別府市民の歯科治療及び歯科保健の普及啓発を行った。地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動、歯科保健公衆衛生の普及向上に多大な貢献をされている。

特別功労表彰

氏　　名 （敬称略）	佐藤（さとう）　隆博（たかひろ）
役　職　等	べっぷ日出農業協同組合　代表理事組合長
功績内容	別府市における農地の効率的利用・安定生産の先駆的経営体としてトルコギキョウを主とした施設花き栽培に家族で取り組むとともに、長年にわたり協同組合別府花市場理事長や別府市農業委員、べっぷ日出農業協同組合理事等の要職を歴任し、別府市における花きの生産振興に尽力をされた。また、平成28年のべっぷ日出農業協同組合代表理事組合長への就任後は、自身の営農経験を踏まえた生産者に寄り添った営農支援に取り組み、地域農業全体の発展に多大な貢献をされている。

氏　　名 （敬称略）	岡田（おかだ）　豊和（とよかず）
役　職　等	前別府市医師会　会長 別府市医師会　監事
功績内容	専門の眼科の立場から、長年にわたり地域のかかりつけ医、複数校にわたる学校医として市民の健康維持と管理、治療等に献身的に奉仕され、地域住民の厚い信頼を受けている。理事就任時から現在に至るまで、医師会看護学校を中心に地域での看護師養成に積極的に関与され、令和４年６月からは会長職として２期４年間、医師会執行部と会員間の融和・親睦、後進の育成・指導に尽力された。会長在職時には、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、発熱外来トリアージセンターの体制整備、別府市ＰＣＲ検査事業の受託と推進、内科と小児科の休日診療のセンター化実現に向けて市、薬剤師会との連携を強化し、医師会活動を通して本市の地域医療に積極的に貢献されるなど、市の地域保健活動、市民の健康づくりに多大な貢献をされている。

功労表彰

自治部門（１２名）

（敬称略･順不同）

氏　　名	功 績 内 容
田中（たなか）　朋子（ともこ）	平成28年７月から別府市、別杵速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会の委員に就任し、別府市職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する措置要求への公平公正な審査等を務めている。令和６年からは委員長として職務執行に尽力しており、別府市の行政運営に多大な貢献をされている。
吉武（よしたけ）　高吉（たかよし）	平成26年４月から令和８年３月まで上野口町２区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めた。また、平成26年４月から令和８年３月まで自治委員会境川地区の副支部長として、９町からなる境川地区全体の地域融和に多大な貢献をされた。
石原（いしはら）　雅義（まさよし）	平成26年４月から緑丘町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、令和８年４月からは自治委員会緑丘地区の支部長として、４町からなる緑丘地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
吉田（よしだ）　義行（よしゆき）	平成26年４月から朝日ケ丘町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、平成30年４月からは自治委員会大平山地区の副支部長として、４町からなる大平山地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
丸井（まるい）　邦彦（くにひこ）	平成26年４月から令和８年３月まで秋葉町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めた。また、令和２年４月から令和８年３月まで自治委員会南地区の副支部長として、11町からなる南地区全体の地域融和に多大な貢献をされた。
梅木（うめき）　政喜（まさき）	平成26年４月から亀川四の湯町１区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、令和元年12月からは自治委員会亀川地区の支部長として、14町からなる亀川地区全体の地域融和に尽力している。さらに、令和４年５月からは自治委員会監事として、別府市全体の福祉向上のために多大な貢献をされている。
井手野（いでの）　康雅（やすまさ）	平成26年10月から楠町２区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに多大な貢献をされている。
金澤（かなざわ）　晋（すすむ）	平成26年４月から令和８年３月まで南立石生目町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めた。また、令和６年４月から令和８年３月まで自治委員会南立石地区の支部長として、10町からなる南立石地区全体の地域融和に多大な貢献をされた。

功労表彰

自治部門（つづき）

平松（ひらまつ）　徹夫（てつお）	平成26年５月から朝見一丁目１区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、令和７年５月からは自治委員会西地区の支部長として、９町からなる西地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
緑川（みどりかわ）　稔（みのる）	平成26年４月から上原町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、令和５年６月からは自治委員会青山地区の支部長として、７町からなる青山地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
山本（やまもと）　啓司（けいじ）	別府市交通安全指導員として、登校時における生徒の安全確保をはじめ、地域の交通事故防止と交通安全意識の向上に尽力している。日々の街頭活動においては、通学路の見守り、地域住民や関係機関と連携しながら、安全で安心な交通環境の維持に大きく寄与している。子どもたちへの声かけや誘導を通じて交通ルールの遵守意識を育むとともに、地域全体の交通安全に対する意識の啓発にも多大な貢献をされている。
松本（まつもと）　久美子（くみこ）	平成21年度から九州を拠点に人権研修会の講師として講演活動を続けるなど、人権問題全般に精通している。さらに平成26年からは人権擁護委員として、多方面からの講演依頼に対応するほか、高齢者施設の訪問や「こどもの人権教室」を行っている。優れた人格と中立公正な視点を兼ね備え、これら多岐にわたる啓発活動を通じて地域福祉の向上に多大な貢献をされている。

公共福祉部門（１８名１団体）

（敬称略･順不同）

氏　　名	功 績 内 容
木村（きむら）　キヌヱ	平成25年11月に別府商工会議所議員に就任以来、献身的な活動を続けている。また、10年間の長きにわたり、常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。
板井（いたい）　覚（さとる）	平成21年５月に別府商工会議所議員に就任以来、献身的な活動を続けている。また、10年間の長きにわたり、常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。
中塚（なかつか）　茂次（しげじ）	平成25年11月に別府商工会議所議員に就任以来、献身的な活動を続けている。また、10年間の長きにわたり、常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。

功労表彰

公共福祉部門（つづき）

和田（わだ）　修（おさむ）	平成25年11月に別府商工会議所議員に就任以来、献身的な活動を続けている。また、10年間の長きにわたり、副会頭や常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。
中尾（なかお）　雄一（ゆういち）	平成25年11月に別府商工会議所議員に就任以来、献身的な活動を続けている。また、10年間の長きにわたり、常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。
神田（かんだ）　純也（じゅんや）	平成25年11月に別府商工会議所議員に就任以来、献身的な活動を続けている。また、10年間の長きにわたり、常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。
下森（しももり）　正也（まさや）	公共交通機関の使命である「安全・安心」の精神を基に勤務し、その卓越した実務能力と人望が評価され、平成27年にみなとタクシー株式会社及び大分みなとタクシー株式会社の代表取締役社長に就任した。平成31年４月には別府市タクシー協会副理事に選任され、長年にわたりタクシー業界の発展に寄与し、コロナ禍にあっては市民の移動手段の確保に尽力するなど、公共交通の推進に多大な貢献をされた。
特定非営利活動法人 別府八湯温泉道名人会	別府温泉の魅力や温泉文化を広く伝える活動として、各種イベントへの参加やホームページ・SNS等を活用したプロモーションを積極的に展開し、全国の温泉愛好家をはじめ、多くの人々に別府の魅力を発信してきた。また、全国の温泉ファンとの交流を通じて「別府ファン」を育み、継続的な来訪や地域とのつながりを創出している。これらの活動は、別府温泉の知名度向上と観光客の誘致、交流人口・関係人口の拡大に寄与し、本市の観光振興と地域活性化に多大な貢献をされている。
冨田（とみた）　能範（よしのり）	平成22年から14年にわたり、別府市猟友会会長として有害鳥獣捕獲活動の中心的役割を担い、農林業被害の軽減を通じて本市の農林業の振興に貢献された。また、安全狩猟の徹底と捕獲技術の向上に努め、鳥獣害対策の推進と生活環境の保全に尽力された。
明比（あけひ）　マリ子	平成11年に更生保護女性会に入会以来、活動に長年従事し、理事として会の運営に寄与した。理事退任後も地区社会福祉協議会役員として地域福祉の推進に尽力する傍ら、更生保護活動にも積極的に参画した。その功績は顕著であり、更生保護思想の普及と地域社会の健全な発展に多大な貢献をされている。
岩本（いわもと）　常雄（つねお）	平成22年９月に法務大臣より保護司に委嘱され、16年にわたり更生保護活動に尽力された。また、別府保護区保護司会南分区会長などを務め、経験の浅い保護司の育成に努めた。現在、理事長を務める社会福祉法人 朝日園での経験と知識を踏まえ、障がいのある対象者を担当する保護司などに接し方を助言したり、就労の実情などを情報提供している。さらに、地区の「社会を明るくする運動」には積極的に参加するなど、常に公共の福祉、地域の安全を考えて行動されており、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。

功労表彰

公共福祉部門（つづき）

山川（やまかわ）　忠臣（ただおみ）	平成25年９月に法務大臣より保護司に委嘱され、13年にわたり更生保護活動に尽力されている。長きにわたり青少年団体連絡協議会などの役職を歴任し、青少年健全育成に力を注いでいる。また、亀川地区の「社会を明るくする運動」では中心的役割を務め、今年度は、保護司の役割、更生保護の大切さを児童に伝えるための授業を行い、犯罪や非行の防止には地域のふれあいが重要だと伝えている。常に公共の福祉、地域の安全を考えて行動されており、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。
藤内（とうない）　宣幸（のりゆき）	平成24年９月に法務大臣より保護司に委嘱され、14年にわたり更生保護活動に尽力された。また、別府保護区保護司会西分区会長などを歴任し、経験の浅い保護司の育成に努めた。さらに、各地区の「社会を明るくする運動」等に参加し、更生保護の必要性を積極的に啓発した。その中で、社会を明るくする運動作文コンテストでは、学校訪問や審査員を務めるなど、「犯罪や非行の防止には学齢期からの意識付けが大切である」と伝えている。常に公共の福祉、地域の安全を考えて行動されており、地域の安全安心を見守る活動に貢献されている。
森（もり）　春美（はるみ）	平成22年12月に民生委員・児童委員に委嘱され、15年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力されている。また、令和７年12月からは、緑丘地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に多大な貢献をされている。
末宗（すえむね）　美紀江（みきえ）	別府市身体障害者相談員設置要綱が施行されて以降、別府市から委託された障害者相談員の任を長年にわたり務められ、別府市の福祉行政へ多大な貢献をされている。
宮﨑（みやざき）　陽子（ようこ）	昭和52年に社会福祉法人千寿会　軽費老人ホーム別府石垣園に入職し、平成17年に施設長に就任、平成21年に法人理事に就任した。以来、長きにわたり高齢者福祉の向上に尽力されている。介護・生活支援の充実はもとより、施設運営の改善、人材育成、地域福祉の推進に積極的に取り組み、多くの利用者やその家族から厚い信頼を得ている。現在は施設長として職員を統率し、利用者本位のサービス提供と安全・安心な施設づくりに多大な貢献をされている。
長野（ながの）　良治（りょうじ）	平成８年に消防団員拝命後、平成24年に班長、平成29年に部長へ昇任し、現在、第12分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域の自治活動や各種会合等に率先して出席し、地域住民に対して火災予防の啓発に努め、地域住民からの信頼は絶大である。
山脇（やまわき）　幸治（こうじ）	平成８年に消防団員拝命後、平成25年に班長、平成31年に部長へ昇任し、現在、第12分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域の自治活動や各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、地域住民からの信頼は絶大である。
安波（やすなみ）　友行（ともゆき）	平成８年に消防団員拝命後、平成21年に班長、平成22年に部長、平成26年に副分団長へ昇任し、現在、第11分団の副分団長として、分団長を補佐するとともに部下団員をリードし、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は旅館・ホテルが多く建ち並ぶ観光地であることから、災害発生に備えるため地域住民との連携を保持し、あらゆる機会を捉えて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。

功労表彰

教育・文化・スポーツ部門（１名）

（敬称略･順不同）

氏　　名	功 績 内 容
裏田（うらた）　泰正（やすまさ）	中学生硬式野球チーム「別府ボーイズ」の監督として20年以上にわたり選手育成に携わっている。練習指導に加え、大会や遠征にも同行し、技術面だけでなく精神面の成長も支えている。その結果、西日本の野球大会での優勝、全国大会で３位になるなど、着実に実績を積み重ねている。毎年12月には選手とともに地域清掃活動を実施し、地域貢献を通じて奉仕の心の育成にも取り組んでいる。日本代表コーチや九州選抜監督も歴任しており、その指導力は全国的にも高く評価されており、競技の普及に多大な貢献をされている。

市民活動部門（１名２団体）

（敬称略･順不同）

氏　　名	功 績 内 容
別府さつき愛好会	長きにわたり、別府市民や観光客に見頃を迎えたサツキを通して花の美しさと感動を与えている。別府観光港において別府さつき展示会を行い、船を利用される方に対して、別府市の出入り口を華やかに彩るとともに、苗木の無償配布も行っている。また、立命館アジア太平洋大学や公民館等にも出品し、花の普及活動に尽力されている。
藤田（ふじた）　和代（かずよ）	留学生や近所で困っている方、別府市に滞在するアーティストへ手料理を届けるなど献身的な支援を行っている。この行動は多様な人々を受け入れる別府市民の姿や本市の魅力を広く発信する契機となっている。見返りを求めることなく他者を思いやる活動は、別府市のおもてなしの精神及び市民憲章の理念を体現するものであり、本市の地域福祉、魅力向上に多大な貢献をされている。
別府ライオンズクラブ女性部会	前身の別府ライオネスクラブ時代に活動を開始し、昭和56年から、困っている市民のために活用して欲しいと、会員から寄附を募り、別府市社会福祉協議会に寄附をしている。令和８年度で43回目を数え、寄附合計額は4,750,000円となり、地域福祉へ多大な貢献をされている。